

木質バイオマスボイラ
PYROT

最高の実績。

PYROT (ピロット) は、世界中で1000を越えるシステム稼働実績をもち、優れた経験と品質が実証されています。

KOB

KOB独自の高効率旋回流燃焼室ボイラとマイコン制御管理システムは、熱単価(イニシャルコスト、ランニングコスト、メンテナンスコスト)を最小限に抑えます。

Heat from wood



無圧式温水ボイラ

KOBのPYROT無圧式温水ボイラは、「ボイラーおよび圧力容器安全規則」による届け出及び取扱者の資格免許を必要としません。



バーナコントロール技術

排ガス温度、排ガス中の残留酸素(ラムダセンサ)を制御パラメータとして、燃焼空気、再循環排ガスと燃料の調節を精密に行い、優れた燃焼を実現します。



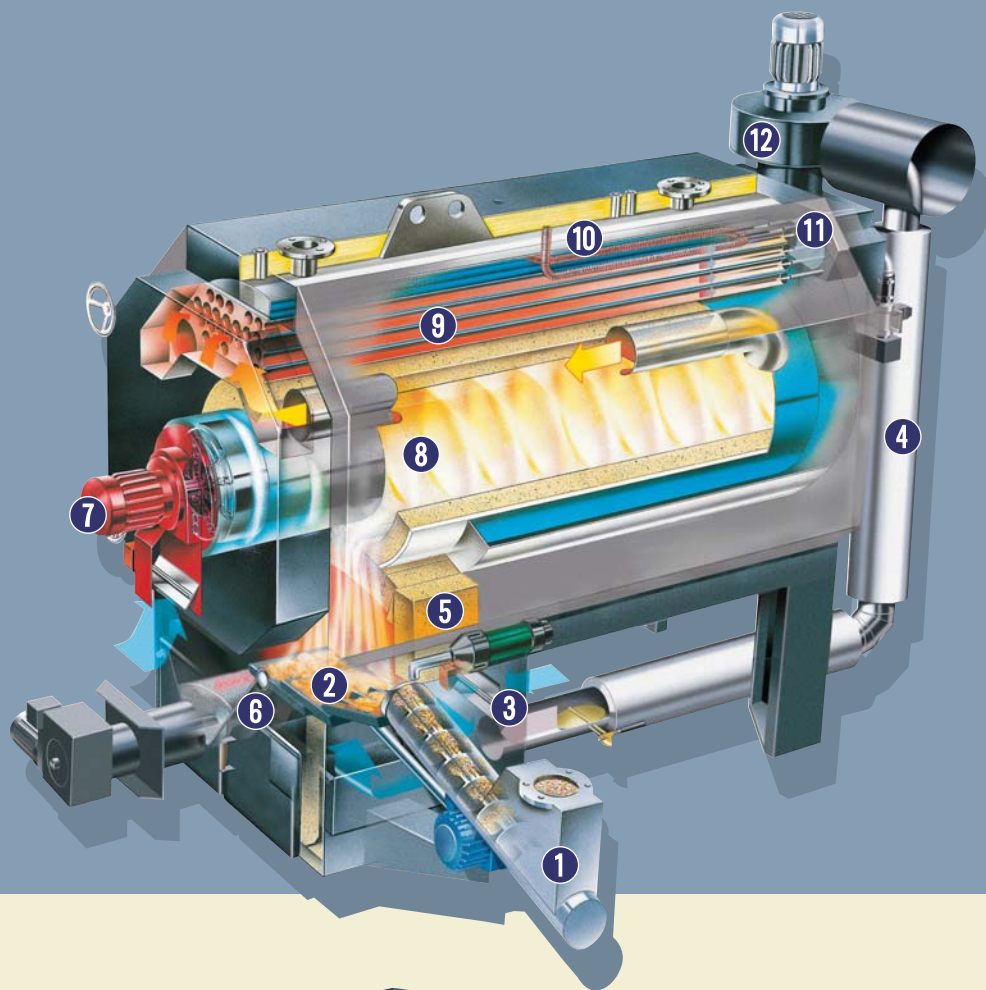
自動灰出し機構

完全燃焼により、木材に含まれるミネラル分が灰として残留します。排ガス再循環システムは過剰空気を最小限に留めながら未燃焼分を残さない燃焼を実現しました。可動火格子により炉内から灰を抜き、灰溜めボックスに移します。スクリーコンベアにより、灰を大型コンテナに移動させます。



スートブロー

稼働中ボイラ本体の熱交換部は、圧縮空気により断続的にクリーニングが行われます。熱交換パイプの清掃は、PYROTの定格出力を長期にわたり維持します。



PYROT構造図

- ① 供給ユニット
- ② 可動式火格子
- ③ 一次空気制御弁
- ④ 排ガス循環制御弁
- ⑤ 点火用ブロフ
- ⑥ 灰出しユニット
- ⑦ 回転ブロフ付二次空気制御弁
- ⑧ 旋回流燃焼室
- ⑨ ボイラ熱交換部
- ⑩ 安全冷却機構
- ⑪ スートブロー
- ⑫ 誘引・ドラフトファン



PYROT旋回流燃焼

最小限の一次空気により、可動火格子にて連続的にガス化が行われます。燃焼ガスは旋回流燃焼室に上昇し、回転ブロフにより回転衝撃力を与えられ、拡散された二次空気と混合されます。これにより燃焼ガスと二次空気の完全混合が行われ、木質バイオマス燃料の燃焼技術が、ガス燃焼と同レベルになるという技術革新をもたらしました。

高効率

完全燃焼により、COやNOxの排出を低く抑え、削減します。化石燃料と異なり、木質バイオマス燃料は再生可能な燃料で、大気中の二酸化炭素を固定します。インバータを併用することにより、熱効率90%以上を達成することが可能です。

性能・寸法表

| 型 式 | 缶体出力 (kW) | 本体寸法 (mm) | | | 本体重量 (kg) | CO ₂ 削減量 (t-CO ₂ /年) |
|----------|--------------|-----------|------|------|--------------|---|
| | | 高さ | 長さ | 幅 | | |
| PYROT100 | 80-100 | 2236 | 2785 | 1050 | 1964 | 50 |
| PYROT150 | 120-150 | 2266 | 3035 | 1050 | 2288 | 75 |
| PYROT220 | 180-220 | 2526 | 3059 | 1330 | 3221 | 110 |
| PYROT300 | 250-300 | 2534 | 3415 | 1330 | 3724 | 150 |
| PYROT400 | 340-400 | 2832 | 3457 | 1570 | 5151 | 200 |
| PYROT540 | 460-540 | 2902 | 3685 | 1570 | 5609 | 270 |

※1 CO₂削減量は下記の運転条件で、当社従来機種と比較して算出しています。 ※2 本体寸法高さには無圧開放用タンクは含まれておりません。
 ・運転条件: 運転時間 12h/日、300日/年 ・負荷率: 60% ・燃料: 都市ガス 13A



MP 株式会社 ヒラカワガイダム

本社:〒531-0077 大阪市北区大淀北1丁目9番36号 TEL.06-6458-8687
<http://www.hirakawag.co.jp>

